

中野市東町区（王日神社）御柱祭 柱切出し

東町区の切り方がチェーンソーで切り込みを入れる。



東町区の切り方が切り口を入れた後、
受口を開けて、芯に切れ込みを入れ受口を完成させる。
追いツル切りを行うので、突っ込み切りで追い口を入れる。(バーの長さ70cm)



70cmのバーでも届かないので、反対側から更に突っ込み切りで追い口を入れる。
このとき両側からの切り面が合うように水平に入れなければならない。



追い口が完成し、最後に東町区の切り方が追いツルを切る。



伐倒の原則に反しますが、引き出す方向に倒しました。



東町区の切り方の補助をすることを依頼されましたので、素人でも安全に伐倒ができるように追いツル切りを設定しました。

注意点

- ① 谷側が開けて枝が張っていましたが、ツルの残し方を工夫しないと割れが入ります。
- ② 芯の切り込みをしないと芯抜けしてしまいます。
- ③ 両側からの突っ込み切りが合わせるために、同じ高さで水平にバーを突っ込めることが重要です
- ④ その他の詳細は次の解説で

解説

反対側と合うように
突っ込み切りで水平



反対側と合うように
突っ込み切りで水平

追いツルを残し過ぎてしまい追いツルを切る際に
抜けができてしまった。



突っ込みで入れた追い口は、倒れる際の幹割れを防ぐため芯に向けて入れた。
結果として芯抜けを防いでいる。
ツルの残す幅が右側が若干広くなってしまい、これにより伐倒方向が若干右に
ずれた。